

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校（香川県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

「共有」と「振り返り」を授業の強みに その1「共有」

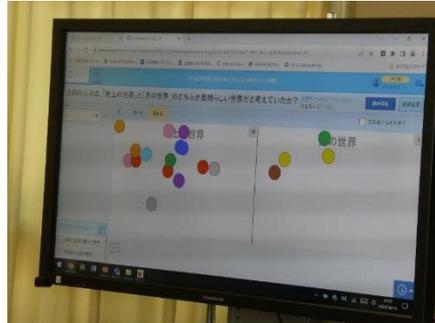
【中学校国語】 1年「竹取物語」 映画「かぐや姫」を視聴し、「月の世界」と「地上の世界」どちらが素晴らしいと考えていたか、根拠をもって意見を述べる学習。

①資料の共有



パワーポイントで各シーンを配布。班で交流のときに、根拠となる場面を示す際に使用。

②考えの共有



「どちらの世界が素晴らしいか」を、ポジショニングを利用して即時に共有した。

③振り返りの共有



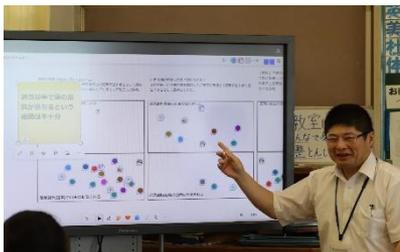
Formsで授業の振り返りを行い、その時間に何が学習できたか、どのような感想をもったかを即時に共有できる。

ICTとクラウドの「共有」機能により

- 【個別最適な学び】
 - ・自分の考えを**表明**する機会の保障
 - ・自分の考えを作る段階で他者を**参照**することができる
- 【協働的な学び】
 - ・他者の考えと自分の考えを**比較**し、よりよい考えを**創造**できる。
 - ・考えを**変更**できる。

【全教科で共有を意識した授業】

【中学校社会】 3年公民「公共の福祉」 自由権と他の権利が対立する事例に対して、個人の考えから全体の考えへと議論を高めていく学習。



TeamsのWhite Boardを使用。個人の意見がドットで可視化される。また、ドットの吹き出しからは、根拠となる理由が示されるので、友だちの意見を参考にしやすい。

クラウドの強みを授業の強みに



ひとりもこぼさない全員参加の授業に